

新潟市立新飯田小学校



学校データ

【学級数】

7学級

【児童生徒数】

83人

【地域コーディネーターの有無】

有

ふるさと新飯田への愛着と誇りをもった児童の育成

1 はじめに

当校は、信濃川とその支流の中ノ口川に囲まれた旧白根市の南端に位置し、校区は三条市、加茂市と接している。古くからの農業地域で、特に梨や葡萄の産地として知られている。

今年度創立145年を迎えた。地域住民は歴史ある学校に愛着をもち、学校教育や青少年健全育成活動に協力的である。地域教育コーディネーターを通じ、例年多くの地域ボランティアの協力を仰いでいる。地域とかかわり、地域に学ぶ中で、地域への愛着と誇りをもつ児童の育成を目指し取り組んでいる。

2 取組の実際 第6学年

総合的な学習「ゆめタウン新飯田」

(1) 前年度までの地域に学ぶ学習

「新飯田の宝探し」	
3年	果樹栽培(梨)・円通庵(有願)・新飯田まつり
4年	青い目のジョアン人形
5年	稲作

5学年までの3年間、児童は「新飯田の宝探し」をテーマに上記の探究を通して地域理解を深めている。6学年では、これまでの地域学習を踏まえ、新飯田の変遷を知り、ふるさとのよさや問題点に気づき、地域貢献しようとする心情を育てることをねらいとしている。

(2) 「新飯田のまち・商店街を知ろう」

ふるさと新飯田の歴史、変遷を知るために、商店街に住むゲストティーチャーから話を伺った。明治、大正、昭和、平成と時代の移り変わりと共に、新飯田地域や商店街が変貌を遂げたことを、児童は写真や体験談などを通して深く知ることができた。そして新飯田の写真を現在と見比べたり、地図に情報を書き込んだりしながら、ふるさと新飯田をどうしていけばよいのか、自分に何ができるのかということに思いを巡らせた。

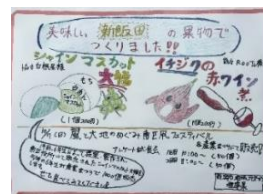


ゲストティーチャーの授業

私は昔の新飯田がすごくにぎわっていて、いいなあと思いました。昔のようにたくさん店を作るのは難しいけど、今のお店が続くといいと思います。大人になったら大好きな新飯田のため、伝統を継ぐために教わったことを後世につなぎたいです。

(3) 「新飯田の果物を使った菓子販売」

児童はこれまでの学習から、地域に貢献したいという思いを強くした。新飯田の地域の一員とし



児童作成PRポスター

て、自分たちにできることを考え、地域の特産である果物をPRすることにした。多くの人から注目されるよう、果物をお菓子に加工することにし、近くの菓子店に協力を依頼し、「シャインマスカット大福」と「イチジクの赤ワイン煮」を製作し、販売することに決めた。

地域の農園、菓子店からの協力を得て、児童は企画、渉外、宣伝、販売等に意欲的に取り組んだ。

(4)「新飯田ふるさとカルタ制作」

3～5年生の学習「新飯田の宝探し」を含めて、児童はふるさと新飯田のよさをまとめ、ふるさとカルタを制作したいという思いをもった。新飯田のよさや未来への思いなどを、言葉（読み札）と絵（取り札）に表し、形として残したいと考えた。



新飯田のよさをまとめる



完成したふるさとカルタ

改めて新飯田のよさを多くの観点から個々に振り返り、クラスで共有した。

それを読み札にするため、七五調などのリズムを意識しながら、グループごとに知恵を出し合った。絵札は、読み

札の内容が分かりやすいよう、配色等を工夫した。そして48枚の新飯田ふるさとカルタを完成させた。カルタは、全校で活用したり、地域、施設等に配布したりするなどした。保護者、地域からの感想も多く寄せられた。

3 成果と課題

児童は地域の方々とかかわり合うことの喜びを学習や体験を通して実感した。

地域を身近に感じ、多くの地域の方々と交流していること、地域を学ぶ学習に意欲的なことが下表からも明らかになった。

また、学習を通し、変遷する地域の人の思いや生き方に触れた児童は、今の自

新潟市生活・学習意識調査の結果

質問内容	「あてはまる」と回答した児童の割合 (新潟市平均との比較)
地域の大人とあいさつしたり、言葉をかわしたりしています。	74.2% (+20.3%)
地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。	62.4% (+14.6%)
地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きです。	69.9% (+16.7%)
地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったりできたりすることがよくあります。	51.6% (+20.3%)

分と将来を関連付けて、やるべきことを具体的に考えた。児童が地域理解だけでなく、今後どのように地域貢献できるか、という視点を持ち、その一つを学年で実践することができた。

今後は、地域学習をさらに発展できるよう、児童に身に付けさせたい資質・能力を明らかにする必要がある。そして、総合的な学習以外の教科と関連を図りながら教育課程を編成していくことが課題である。

4 おわりに

今年度から当校はモデル校として、新潟市コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の取組がスタートした。コミュニティ・スクールにおいて育てたい児童像を共有し、地域と協働しながら、今後も教育実践を積み重ねていきたい。そして「地域とともにある学校」づくりを念頭に、ふるさと新飯田への愛着と誇りをもつ児童を育てていく。